

**金沢マラソン2023  
(KM2023)  
大学連携成果発表会報告**

**KM2023の経済波及効果について**

**令和6年3月23日  
金沢学院大学 経済学部  
豊田 欣吾**

# 構成

- (1) K M2023ランナーアンケートの概要
- (2) K M2023の石川県内への経済波及効果
- (3) ランナーの参加回数別消費単価・同行者比率
- (4) 県外ランナーの観光動向
- (5) まとめ

# 表 1 KM2023ランナーアンケート回答者

地域名	参加者（事前登録者）		アンケート回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
石川県内	5,996	44.3	1,866	45.2
金沢市内	N.A.	N.A.	1,041	25.2
金沢市外	N.A.	N.A.	825	20.0
石川県外	7,539	55.7	2,259	54.8
隣接県	1,163	8.6	332	8.0
遠隔県	6,376	47.1	1,927	46.7
関東圏	2,283	16.9	630	15.3
近畿圏	1,842	13.6	603	14.6
東海圏	1,344	9.9	415	10.1
その他	907	6.7	279	6.8
合計	13,535	100.0	4,125	100.0

- ・ 今回のアンケート回答者総数は4,125件
- ・ 回答者の地域別の構成は事前登録者の地域別構成と近似しており、母集団の状況を反映しているものと考えられる。

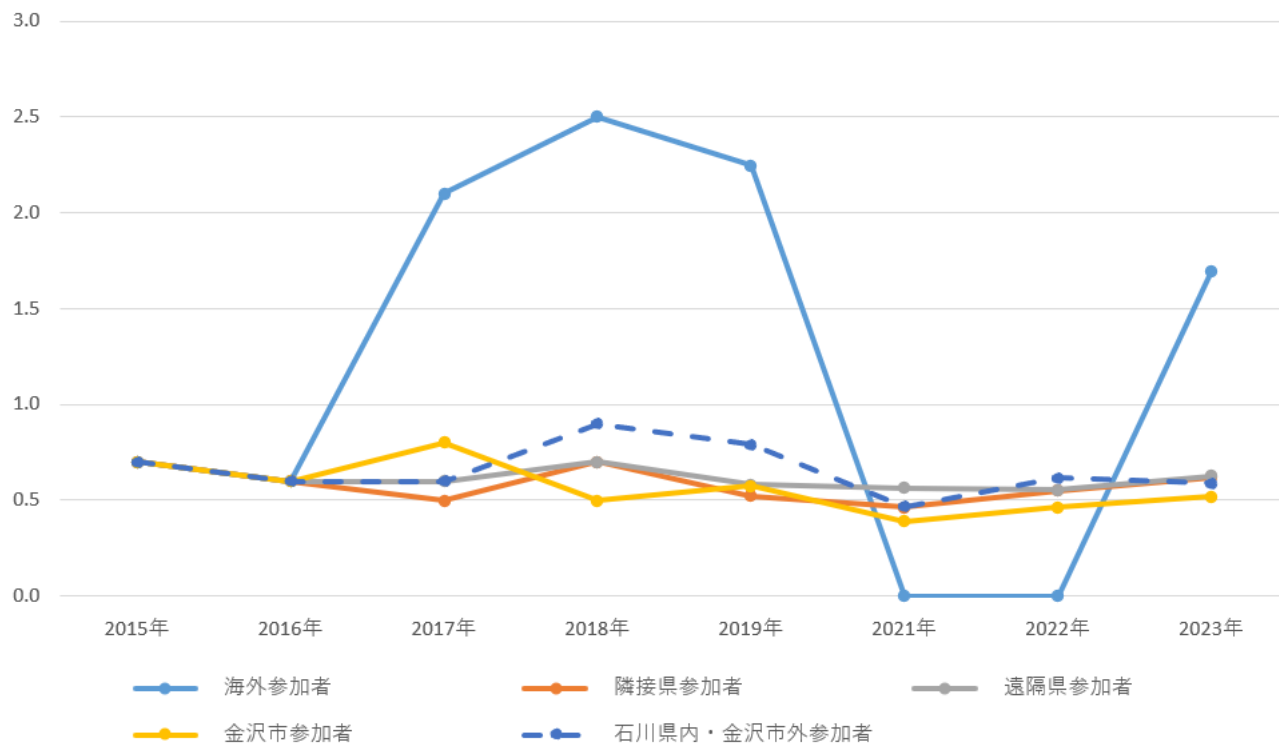
資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 表2 ランナーアンケート回答者地域別内訳の推移

	KM2018(D)			KM2019(E)			KM2021(F)			KM2022(F)			KM2023(F)		
	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	出走者数 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比
金沢市内	800	23.1	N.A.	788	20.9	N.A.	1,195	22.9	N.A.	929	23.0	N.A.	1,041	24.9	N.A.
石川県内 (除く金沢市内)	673	19.4	N.A.	698	18.5	N.A.	930	17.9	N.A.	721	17.8	N.A.	825	19.7	N.A.
石川県内	1,473	42.5	40.3	1,486	39.4	41.5	2,125	40.8	40.5	1,650	40.8	42.2	1,866	44.7	41.8
石川県外	1,994	57.5	59.7	2,283	60.6	58.5	3,084	59.2	59.5	2,391	59.2	57.8	2,312	55.3	58.2
北海道・東北・新潟	101	2.9	2.6	84	2.2	2.1	108	2.1	2.3	105	2.6	2.4	92	2.2	2.1
関東	518	14.9	14.0	650	17.2	15.5	873	16.8	16.4	695	17.2	17.0	630	15.1	15.9
甲信(山梨・長野)	46	1.3	1.1	56	1.5	1.1	51	1.0	0.9	43	1.1	1.0	51	1.2	1.2
隣接県(富山・福井・岐阜)	264	7.6	6.6	227	6.0	6.7	336	6.5	6.5	314	7.8	7.6	332	7.9	8.1
東海(愛知・静岡・三重)	334	9.6	8.8	333	8.8	8.9	543	10.4	10.6	456	11.3	11.3	415	9.9	9.4
近畿	550	15.9	14.4	557	14.8	13.3	997	19.1	19.1	632	15.6	15.2	603	14.4	12.8
中国・四国	84	2.4	2.5	109	2.9	2.5	117	2.2	2.4	95	2.4	2.1	88	2.1	1.9
九州・沖縄	34	1.0	1.1	44	1.2	1.0	59	1.1	1.3	51	1.3	1.1	48	1.1	1.1
海外	63	1.8	8.6	223	5.9	7.4	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	53	1.3	5.7
合計	3,467	100.0	100.0	3,769	100.0	100.0	5,209	100.0	100.0	4,041	100.0	100.0	4,178	100.0	100.0
住所地未回答	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
再計	3,467	100.0		3,769	100.0		5,209	100.0		4,041	100.0		4,178	100.0	

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 図1 参加ランナー同行者比率の推移



- 参加ランナーの一人当たり同行者比率は、国内ランナーと比較して同行者を多く同伴する海外ランナーが加わったことで前回（KM2022）と比べて増加。
- これに伴い、全体の同行者数も海外ランナーを含めた参加ランナーが増加したことから、6,498人から8,751人に増加。

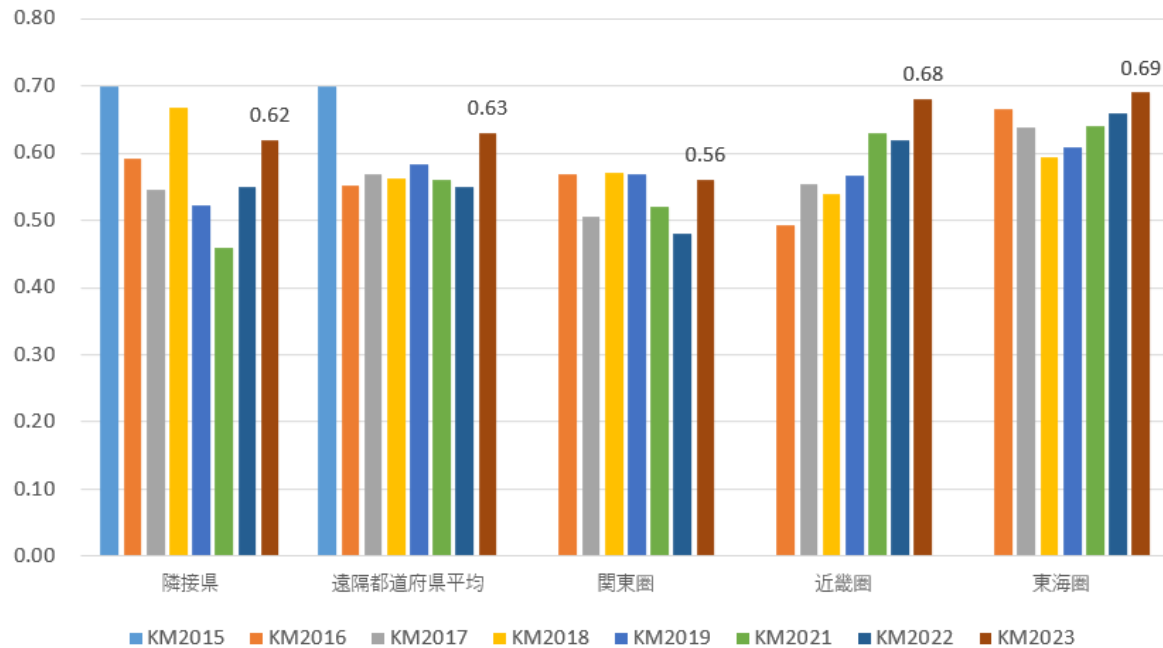
【表3】参加ランナー同行者比率の推移

(単位：人)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	2023年
海外参加者	0.7	0.6	2.1	2.5	2.2	0.0	0.0	1.7
隣接県参加者	0.7	0.6	0.5	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6
遠隔県参加者	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6
金沢市参加者	0.7	0.6	0.8	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5
石川県内・金沢市外参加者	0.7	0.6	0.6	0.9	0.8	0.5	0.6	0.6

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 図2 県外ランナーの地域別同行者比率の推移



【表4】 県外ランナー 地域別同行者比率の推移

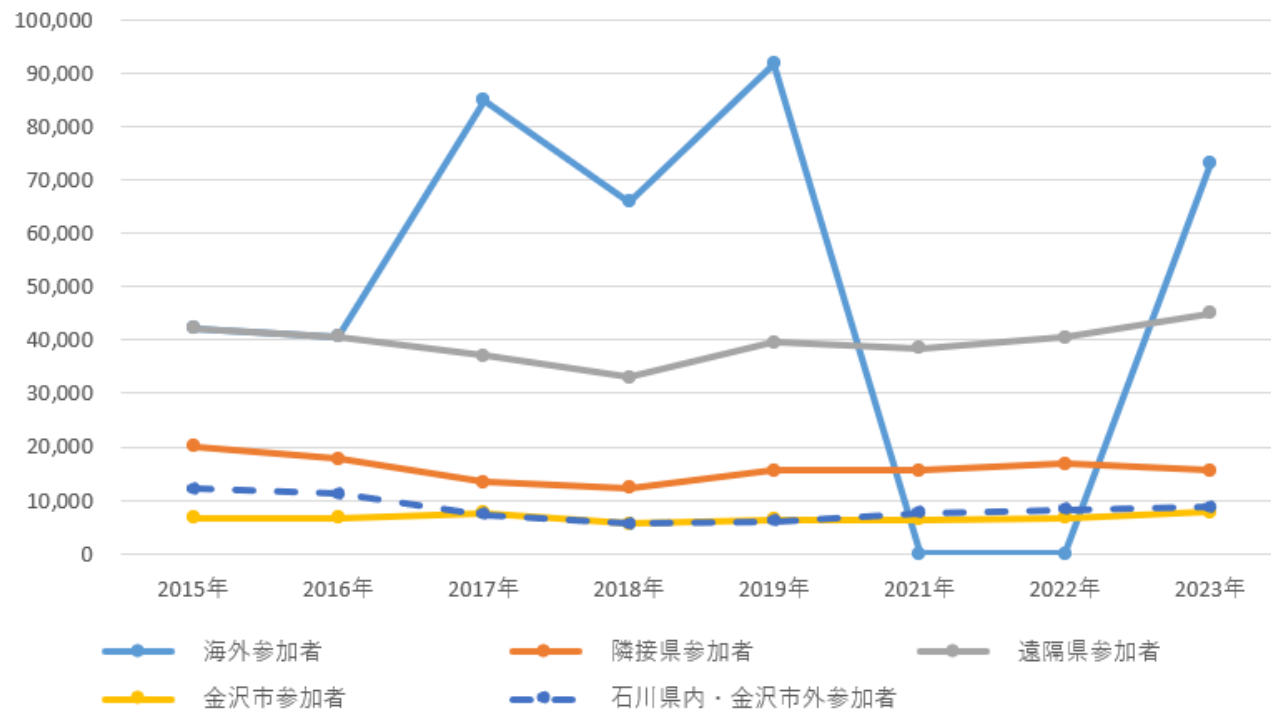
(単位：人)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2015	0.70	0.70	N.A	N.A	N.A	N.A
KM2016	0.59	0.55	0.57	0.49	0.67	N.A
KM2017	0.54	0.57	0.51	0.55	0.64	2.10
KM2018	0.67	0.56	0.57	0.54	0.59	2.50
KM2019	0.52	0.58	0.57	0.57	0.61	2.25
KM2021	0.46	0.56	0.52	0.63	0.64	-
KM2022	0.55	0.55	0.48	0.62	0.66	-
KM2023	0.62	0.63	0.56	0.68	0.69	1.70

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・ 地域別にみた同行者比率は、隣接県・遠隔県ともに上昇。
- ・ 遠隔県については、関東圏、近畿圏、東海圏ともに、同行者比率が上昇した。
- ・ ただし、これが基調的な変化かどうかはもう暫く回を重ねて観察していく必要がある。

# 図3 参加ランナーの消費単価の推移



- 全体の消費単価は上昇したものと考えられる。
  - 第一に、消費単価の高い海外ランナーが久しぶりに参加したことの影響は大きい。
  - 第二に、遠隔県ランナーの消費単価が1割以上も上昇したことの影響も大きい（※）。
- ※ただし、足元の物価上昇が影響している可能性がある。

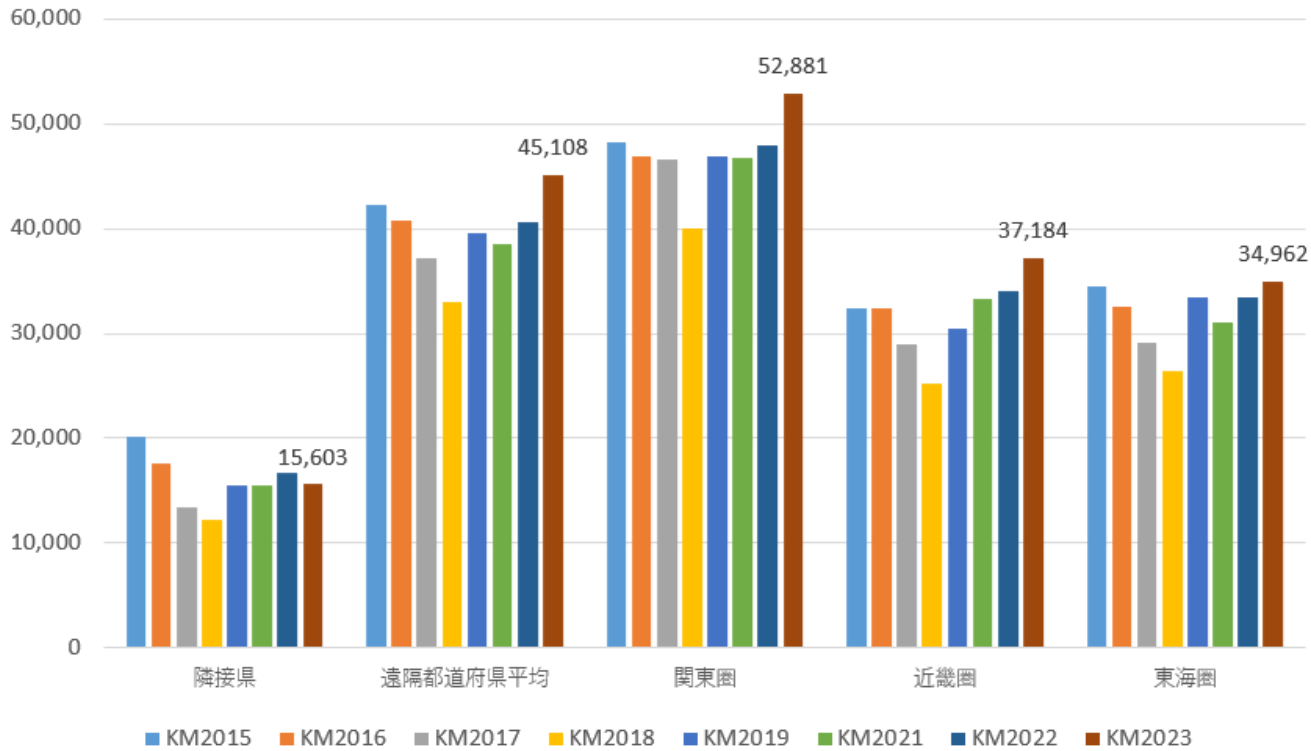
【表5】参加ランナー消費単価推移

(単位：円)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	2023年
海外参加者	42,204	40,750	85,000	65,984	91,863	0	0	73,331
隣接県参加者	20,132	17,679	13,411	12,296	15,532	15,517	16,737	15,603
遠隔県参加者	42,204	40,750	37,148	33,033	39,537	38,536	40,591	45,108
金沢市参加者	6,740	6,740	7,543	5,653	6,362	6,427	6,619	7,746
石川県内・金沢市外参加者	12,097	11,116	7,331	5,609	6,038	7,560	8,179	8,664

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 図4 県外ランナー 地域別消費単価の推移



【表6】 県外ランナー 地域別消費単価推移

(単位：円)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2015	20,132	42,217	48,258	32,403	34,489	N.A
KM2016	17,679	40,750	46,905	32,408	32,529	N.A
KM2017	13,411	37,148	46,520	28,908	29,030	85,000
KM2018	12,296	33,033	40,011	25,154	26,403	65,984
KM2019	15,532	39,537	46,891	30,459	33,408	91,863
KM2021	15,517	38,536	46,726	33,221	31,075	-
KM2022	16,737	40,591	47,877	34,008	33,504	-
KM2023	15,603	45,108	52,881	37,184	34,962	73,331

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・ 遠隔県ランナーの消費単価は上昇。とくに関東圏ランナーは初めて5万円台を記録した（52,881円）。ただし、足元の物価上昇が影響している可能性がある。
- ・ また、遠隔県において、関東圏ランナーの消費単価の水準が他圏域のランナーに比べて相対的に高くなるという傾向自体には変化はない。



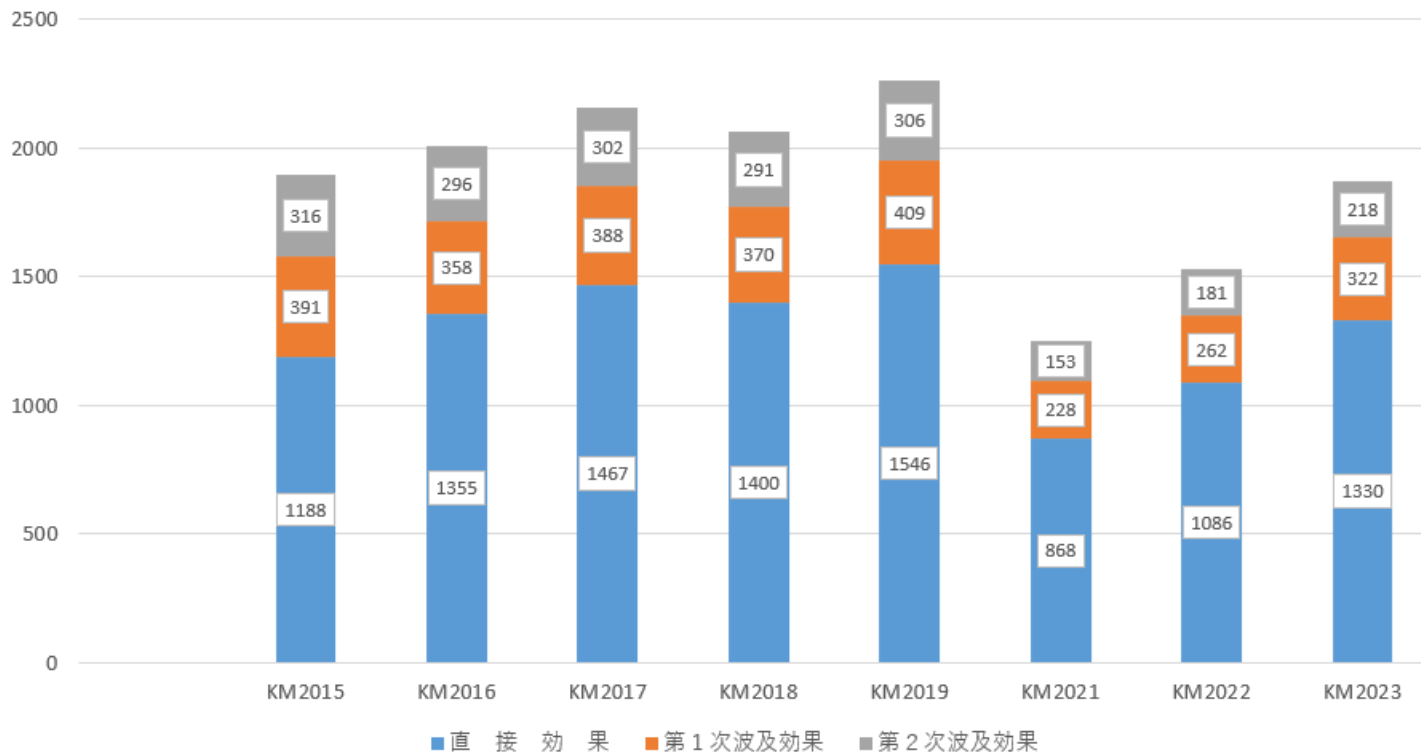
# 表7 消費総額の推計

- ・ 前回（KM2022）と比べると、参加ランナー等の増加などから、ランナー消費額、ランナー同行者消費額ともに増加。
- ・ また、沿道応援者の増加から、沿道応援者消費額も増加。
- ・ 以上により、参加ランナー等の消費額やその他の関連する消費額、さらには大会運営費を全て合計すると、約17.0億円の消費が発生したものと推計される。

項目	人数 (人)	消費単価 (円)	消費額(A) (百万円)	参考	
				2022年 消費額(B)	A-B
ランナー消費額	13,290		385	302	83
県外	7,645		339	267	72
海外	812	73,331	60	0	60
隣接県	986	15,603	15	15	0
その他	5,947	45,108	264	251	13
石川県内	5,645		46	36	10
金沢市内	3,149	7,746	24	18	6
金沢市外	2,496	8,664	22	17	5
ランナー同行者消費額	8,751		301	166	135
県外	5,648		276	146	130
海外	1,379	73,331	101	0	101
隣接県	611	15,603	10	8	2
その他	3,659	45,108	165	138	27
石川県内	3,102		25	19	6
金沢市内	1,630	7,746	13	9	4
金沢市外	1,473	8,664	13	11	2
沿道応援者消費額	167,558	2,965	497	397	100
ボランティア消費額	4,903	975	5	5	0
大会関係者消費額	2,100	975	2	2	0
関係者消費額 合計			1,189	872	317
大会運営費			512	484	28
消費額・大会運営費合計			1,701	1,356	345

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 図5 石川県内への経済波及効果額の推移



- KM2023開催による石川県内への経済波及効果は、マラソン参加者等が県内で消費することによって生まれる「直接効果」が13.3億円、直接効果によって誘発される「第1次波及効果」が3.2億円、「第2次波及効果」が2.2億円となり、全体の経済波及効果は18.7億円となった。

【表8】経済波及効果額推移

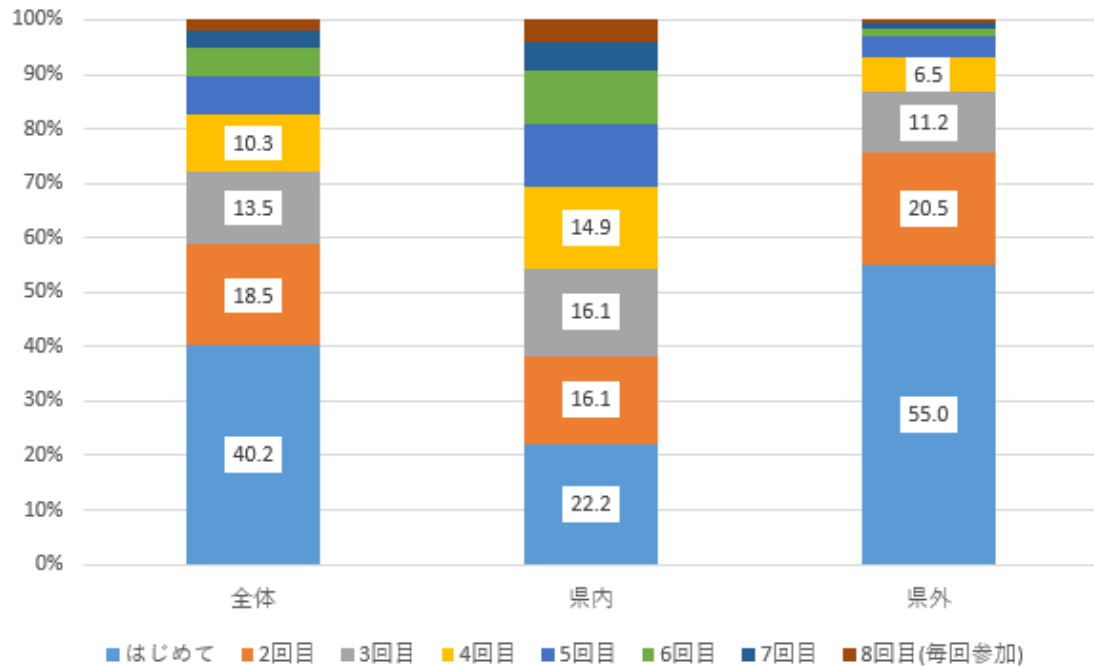
(単位: 百万円)

	KM2015	KM2016	KM2017	KM2018	KM2019	KM2021	KM2022	KM2023
直接効果	1188	1355	1467	1400	1546	868	1086	1330
第1次波及効果	391	358	388	370	409	228	262	322
第2次波及効果	316	296	302	291	306	153	181	218
経済波及効果	1894	2010	2157	2061	2260	1248	1528	1870

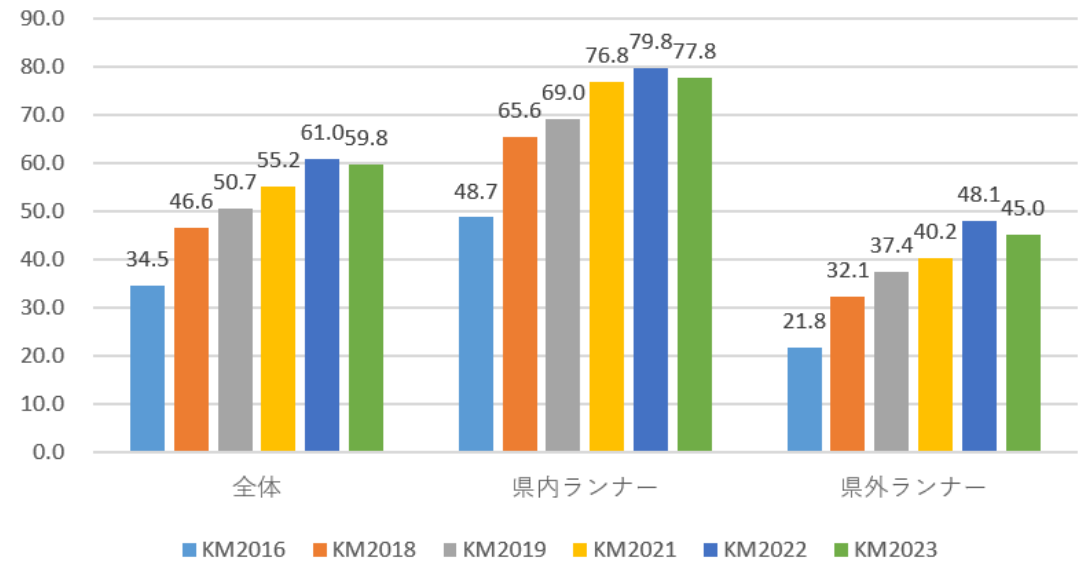
資料: KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 図 6・7 ランナー参加回数別の分析

【図 6】 KM2023ランナー参加回数別構成比（単位：％）



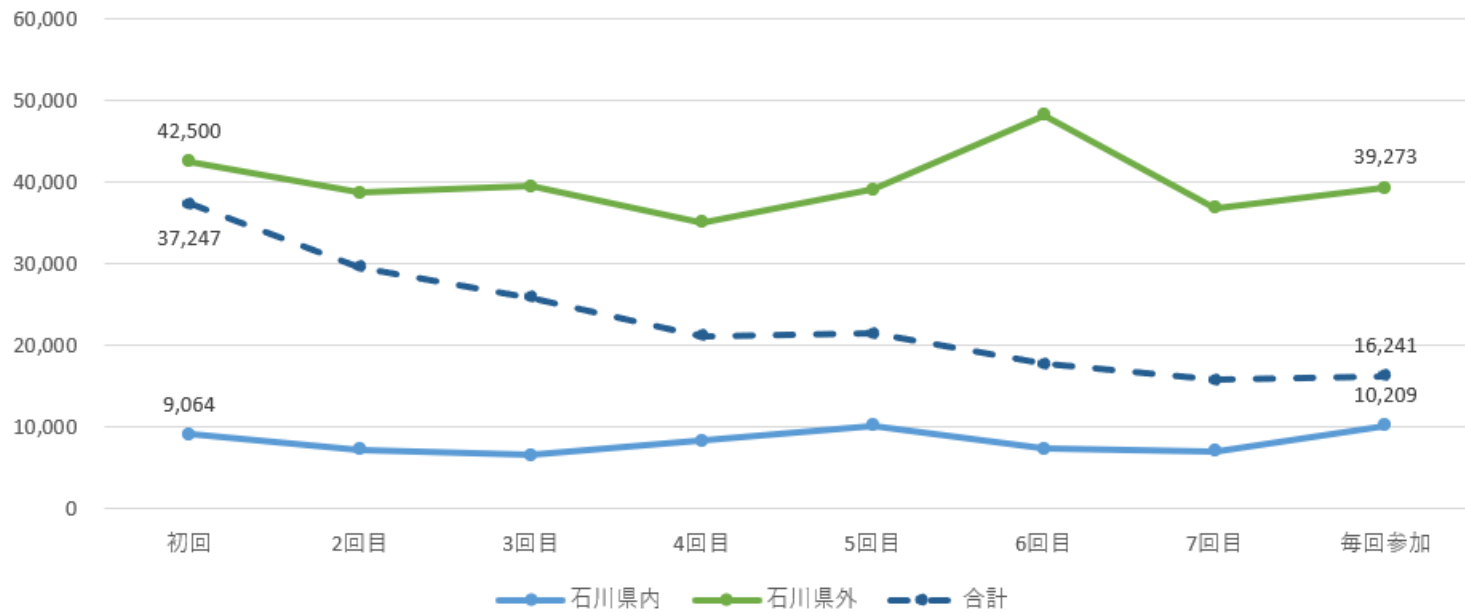
【図 7】 リピーター比率の推移（単位：％）



資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・ 回を重ねるごとに国内ランナーのリピーター比率は着実に増加。今回は一服感が出たが、そのことのある意味で評価できる。
- ・ リピーター比率が高まっていくことは、初めて参加するランナーの比率が低下していくということでもあり、イベントの活力が維持・強化されるためには一定程度のランナーの新陳代謝が必要である。

# 図8 ランナー参加回数別消費単価の推移



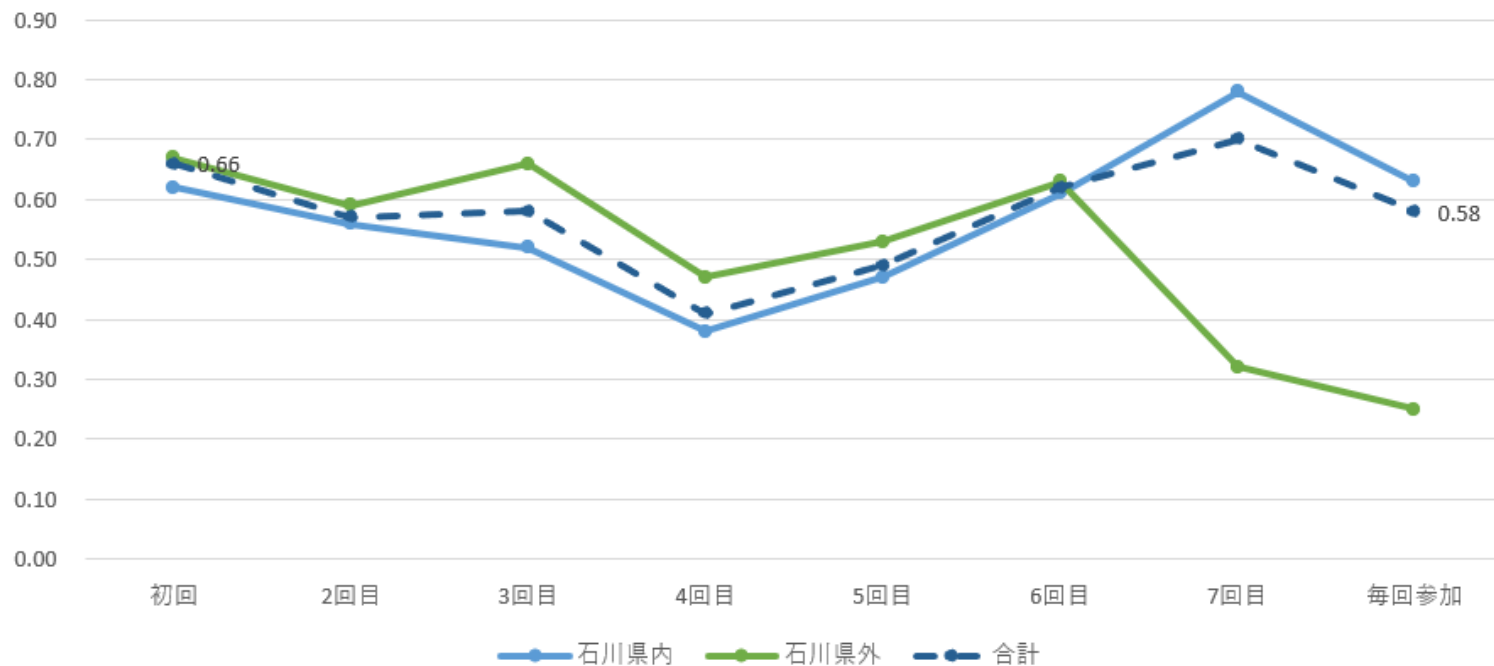
- ・消費単価を県内外で比較すると、県外の消費単価が圧倒的に高い。
- ・また、参加回数を重ねても、消費単価は県外・県内ともに比較的安定している。
- ・なお、全体の消費単価が回を重ねるごとに低下するのは、県内・県外ランナーの構成比の変化によるもの。

【表9】 KG2023ランナー参加回数別消費単価 (単位：円)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	毎回参加	平均
石川県内	9,064	7,275	6,520	8,336	10,156	7,388	7,022	10,209	8,152
石川県外	42,500	38,653	39,390	35,000	39,006	48,194	36,810	39,273	40,772
合計	37,247	29,538	25,797	21,150	21,445	17,661	15,710	16,241	30,038

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 図9 ランナー 参加回数別同行者比率の推移



- ・ 回を重ねるごとの同行者比率を県内外で比較すると、大きな差を明確に確認することはできない。
- ・ また、回を重ねるごとの同行者比率の変化（低下傾向、或いは上昇傾向）についても、明確に確認することはできない。

【表10】 KM2023ランナー参加回数別同行者比率

(単位：人)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	毎回参加	平均
石川県内	0.62	0.56	0.52	0.38	0.47	0.61	0.78	0.63	0.55
石川県外	0.67	0.59	0.66	0.47	0.53	0.63	0.32	0.25	0.63
合計	0.66	0.57	0.58	0.41	0.49	0.62	0.70	0.58	0.59

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

# 表11 県外ランナーの観光動向

		KM2022			KM2023		
		人数 (人)	構成比	実観光者数比	人数 (人)	構成比	実観光者数比
	兼六園	737	17.5	44.9	694	18.3	46.4
	金沢城公園	827	19.6	50.4	777	20.5	52.0
	金沢21世紀美術館	462	10.9	28.2	420	11.1	28.1
	近江町市場	1,036	24.5	63.1	923	24.3	61.7
	ひがし茶屋街	593	14.1	36.1	479	12.6	32.0
	長町武家屋敷	245	5.8	14.9	192	5.1	12.8
	輪島朝市	10	0.2	0.6	12	0.3	0.8
	和倉温泉	24	0.6	1.5	18	0.5	1.2
	加賀湯泉郷	47	1.1	2.9	38	1.0	2.5
	その他	239	5.7	14.6	243	6.4	16.3
観光者小計 (延べ人数：A)		4,220	100.0		3,796	100.0	
観光はしていない (B)		750			764		
回答ランナー数 (C：人)		2,391			2,259		
実観光者数 (D = C - B：人)		1,641			1,495		
実観光者比率 (E = D / C × 100：%)		68.6			66.2		
一人当たり観光先件数 (F = A / D：件)		2.6			2.5		

- ・ 県外ランナーの実観光者比率や1人当たり観光件数は、前回 (KM2022) と比較して、大きな変化はみられない。
- ・ 観光先についても、引き続き金沢市内中心部の観光スポットに人気が集中している点に変化はみられない。

資料：KM2023ランナーアンケート結果をもとに作成

## まとめ（1）

- ・ KM2023の開催による経済波及効果は約18.7億円と推計される。前回大会（KM2022）の経済波及効果額約15.3億円と比べると約3.4億円の増加となったが、過去のピークである2019年大会（KM2019）の約22.6億円と比較すると、依然としてそれを下回っている。
- ・ 前回大会（KM2022）に比べて経済波及効果額が増加したのは、国内ランナーの増加やそれに伴うランナー同行者の増加、さらには消費単価の増加が影響している。また、これらに加えて同行者比率及び消費単価の高い海外ランナーが久しぶりに参加したことも影響していると考えられる。

## まとめ（2）

- ・ 経済波及効果をさらに高めていくための対応としては、
  - ⇒ 相対的に消費単価の高い関東圏をはじめとする遠隔県ランナーの参加を促していくこと（※）、
  - ⇒ 相対的に同行者比率や消費単価の高い海外ランナーの参加を促していくこと（※）、
  - ⇒ 同行者比率や消費単価を全体的に高めていくこと（※）、
    - ※ そのためには、参加ランナー等が市内観光を行う際の一層の利便性向上を図っていくことも一案。
  - ⇒ 地元住民のイベントへの参加意識を高めるなどして沿道での応援を促していくこと、  
などが考えられよう。